

1.診療科紹介（専攻医・後期研修医向け）

項目	内容
① 診療科名	消化器内科
② 診療科の特徴	消化器癌、救急医療、難病に取り組む。最先端の医療を導入。臨床研究・治験を推進。
③ 診療科のモットー	消化器病のさらなる極みを目指す
④ 診療内容・実績 (2019年3月時点)	内視鏡件数：上部消化管 3877 件、下部消化管 2677 件、ERCP221 件、超音波内視鏡検査 176 件、緊急止血術 111 件、大腸腫瘍切除 665 件、早期癌粘膜下層剥離術 56 件など
⑤ 診療体制 (2019年9月時点)	日本内科学会指導医 1 名・専門医 2 名、日本消化器病学会指導医 3 名・専門医 6 名、日本消化器内視鏡学会指導医 3 名・専門医 5 名、日本肝臓学会指導医 2 名、専門医 2 名、日本消化管学会胃腸科専門医 2 名
⑥ 診療科カンファレンス	消化器内科カンファレンス、消化器内科・外科合同カンファレンス
⑦ 経験できる疾患	消化器癌、救急疾患、炎症性腸疾患、肝炎治療など
⑧ 経験できる技術・技能	内視鏡的治療、血管造影検査、ラジオ波治療など
⑨ 学会について	日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本肝臓学会
⑩ その他	国立病院機構ネットワーク研究、国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)、厚生労働行政推進調査事業研究に参加

2.専門研修プログラムに準拠しない形での採用の場合

項目	内容
① 取得可能な専門医	日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本肝臓学会専門医、日本消化管学会胃腸科専門医
② その他	

3.指導責任者より専攻医・後期研修医へメッセージ

名古屋医療センター消化器内科は島田昌明部長、平嶋 昇医長、岩瀬弘明顧問と 7 人の常勤医師、1 人の非常勤医師の計 11 人で消化器疾患の診療に励んでいます。医師の卒業大学はバラエティーに富み、個性豊かで、明るく活発な雰囲気が特徴です。消化器内科では救急医療はじめ、消化器癌の診断・治療、最新の内視鏡治療、肝・胆・膵診療、炎症性腸疾患などの難病診療など、消化器疾患のすべてを網羅した研修を受けることが可能で、上級医師と後期研修医の関係はチームワークを重視した指導をしています。最新機器による先進医療、治験、臨床研究なども積極的に行い、標準治療より一歩進んだ医療にも取り組んでいます。学会活動、国内留学、臨床研究を行うことにより、幅広い知識の獲得と最先端の医療の習得ができます。消化器内科で研修して私たちと共に消化器病のさらなる極みを目指しましょう。